

第4学年 国語科授業実践

1 単元名 「スワンレイクのほとりで」

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	・進んで一人一人の感じ方に違いがあることに気付き、学習の見通しをもって、物語を読んで考えたことを伝え合おうとしている。

3 教材のとらえ

これまでの物語単元は、三人称視点のものが多く扱われていたが、本単元の作品は一人称視点である。一人称視点には慣れていないものの、主人公である「歌」の心内語が多く、気持ちが直接的に書かれているため、主人公の気持ちを想像しやすく変容が捉えやすいと思われる。また、主人公が4年生であり、児童と同級生であることから同化して考えやすいのではないかとと思われる。

物語の構造は、「現在―過去―現在」の3つに分かれている。物語の最初と最後で主人公が変容するが、そのきっかけは、過去のスワンレイクのほとりで出来事をしっかりと回想することである。

また、物語の中では、類比や対比を用いて様々な多様性を表している。そして、それが作品の主題とも関連していると考えられる。さらに、「まぶたまで青くそまってしまいそうな湖」や「水色の空」など、色彩語の中でも青色が多く使われているのも特徴と思われる。

まずは、本単元で初めて学習する「現在―過去―現在」という構造を確認し、混乱のないよう出来事を確認していきたい。そのうえで『歌』が一番心に残っていることは何かを話し合っていきたい。

話し合う中で、「一番心に残ったこと」は人それぞれ違うことに気づくよう、常に意識しながら学習を進めていきたい。



4 本時の指導案

本時の目標（5/7）

グレンとの交流の中で、「歌」が一番心に残っているのは何なのか叙述をもとに考えて伝え合い、考えを広げることができる。

本時の学習

学習活動	教師の支援
1 前時の内容を振り返る。	前時までの学習を掲示しておき、これまでの学習を想起しやすくする。
2 本時の問いを確認する。	前時に問いに対する自分の考えをまとめておく。
グレンとの出会いや交流の中で、「歌」が一番心に残っているのは何だろう。	
3 友達の考えを知る。	グループ等で友達と意見を交流させ、友達の立場を知る。
4 全体で問いについて話し合う。	
グレンとの出会い ・「友達になれたらいいな。なりたくないな。でも、なれるかな。」その後の湖の様子からもすごくドキドキしている気持ちが伝わってくるから。 ・勇気を出して自分からあいさつしたから。	・友達の考えに対して反応したり思ったことを積極的に述べたりするよう促す。 ・黒板にネームプレートを貼りながら児童の意見を書き、友達の意見で考えが変わった場合は貼りかえるようにする。
グレンとの握手 ・「思わずぎゅっとグレンの手をにぎりしめた。」と書いてあるから。 ・物語の最後に「あの日、グレンの手をにぎったときのように。」と書いてあるから。	・「中」（アメリカでの出来事の回想）部分だけでなく、「始め」と「終わり」の部分にも目を向けるよう声をかける。
野菜畑での交流 ・「英語では、どう言うんだろう。」と英語に興味をもち始めているから。 ・「言葉の追いかっこ」と思うくらい楽しんでいるから。	・比喩表現や情景描写にも目を向けるよう促す。 【思考・判断・表現】 ・「歌」の気持ちの変化や情景を具体的に想像したり、友達の意見を聞いて考えを広げたりしている。 【発言・ノート】
湖のほとりでの交流 ・自分の名前「歌」を、「なんて美しい名前なんだろう。」と言われて、急に自分の名前が好きになったから。 ・顔を見合わせて笑うほど仲良くなっているから ・「(湖やその周りの景色が) まるで、わたしたちと一しょに、笑っているかのようにー。」から喜びや楽しさが伝わってくるから。	・感じ方は人それぞれ違うことに気づき、それぞれの考えを尊重する気持ちが持てるよう声をかける。 →物語に対する思いは、一人一人違うから面白いということを押さえる。
6 学習を振り返る	振り返る視点を明確にする。 ① 今日の授業でわかったこと ② 感想